

## 国会通信

茨城選出の議員

圧力一辺倒では  
挑発も加速する

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏（参院茨城）は5日、参院外交防衛委員会で質問に立ち、北朝鮮に核・ミサイル開発

を放棄させるために圧力をかけ続ける政府の方針や効果をただした。

藤田氏は、トランプ米大統領が軍事力の行使も否定しない現状に懸念を示した上で、「戦争させないことが外交の最大の意味だ」と強調。米政府が北朝鮮をテロ支援国家に再指定した後も、北朝鮮が政策転換せずミサイルを発射したことを挙げ、「圧力一辺倒だと北朝鮮は逆に反発し、挑発も加速する」と指摘した。

河野太郎外相は「対話のための対話では朝鮮半島の非核化は実現できない。北朝鮮が今のコースを続けても意味がないと認識させるための圧力が必要だ」と、従来の政府の立場を繰り返した。

沖縄のトカゲモドキ  
深刻な絶滅の危機に

レッドリスト最新版

国際自然保護連合（IUCN）は5日、世界の絶滅危惧種をまとめたレッドリストの最新版を公表した。新たに沖縄県・伊平屋島に生息するイヘヤトカゲモドキと同県・久米島のクメトカゲモドキを、3段階ある絶滅危惧種の最も深刻なランクに指定。鹿児島県・徳之島のオヒトカゲモドキなども含め、評価した日本固有のヘビヤトカゲの仲間計46種のうち3分の1が絶滅危惧種となった。

IUCNは「生息環境が破壊され、ウシガエルなど侵略的外来種に食べられているのが原因だ」と指摘した。